

アーミル・ジャマル

<略歴>

アーミル・ジャマル博士は、カルガリー大学ソーシャルワーク学部の准教授です。ジャマル博士は、グローバル・エンゲージメント及び国際パートナーシップの管理者を務め、同学部の国際コミュニティ開発大学院プログラムを牽引しています。ジャマル博士は、国際社会開発の博士号（カルガリー大学）、MBA（ニューヨーク、アデルフィ大学）を取得しており、国際開発分野で25年以上の勤務経験を有しています。彼の知識、経験、そして個人や地域社会と幅広いネットワークは、国際ソーシャルワークのカリキュラム開発を先導する上で欠かせないものです。

ジェンダーの正義、女子教育、女性の権利に関するジャマル博士の研究は、各国政府や国際機関の政策・実践に反映されてきました。また、彼は自身の著書「ゲートキーパー：パキスタンのジェンダー正義と女子教育におけるパシュトゥーン人男性の関わり（原題 The Gatekeepers: Engaging Pashtun Men for Gender Justice and Girls' Education in Pakistan）」で最もよく知られており、同書はいくつかの現地語に翻訳されています。ジャマル博士は、何十年にもわたる戦争の影響を受けた地域における、人権と社会・経済的疎外との関係性について幅広い見識を持っています。この理解により、彼は影響力のあるリーダーとなり、パキスタンとアフガニスタンのパシュトゥーン地域におけるジェンダー正義のための、地域・民族の固有性に根差した新しい社会運動の基盤を協同により構築することができました。ジャマル博士は、卓越したボランティア活動と専門家としての活動により、2021年にカルガリー市から名誉ある国際功労賞を受賞しました。

< IASSW に対するビジョン >

私は、国際ソーシャルワーカー、社会活動家、教育者、研究者として、南半球の女性やその他の抑圧されたグループを軽視する、根深い社会文化的・政治的問題を問いただす変革のための活動に継続して取り組んでいます。私の活動の中心は、女子や女性の教育の権利を向上させることです。南半球と北半球での教育、研究、社会活動の経験を活かしながら、グローバルな社会正義、人権、ジェンダー平等への取り組みに、現地コミュニティと地元の学生を尊重しながら参加させることに成功しています。また、政府部門と緊密に協力して、戦争や紛争、それに伴う人権やジェンダー平等の問題を経験している国々で、家庭内暴力の防止や女子の教育促進を含む平和構築戦略を開発・導入しています。

私は、ソーシャルワークがまだ新しい専門職である地域で会議を開催するなど、プログラムの設計、研究、実践セミナーを通じて、国際的なソーシャルワーク教育の推進に大きく関わってきました。また、コミュニティを基盤としたアプローチと協同的な知識の構築を通じて、ソーシャルワーカーが、倫理的な実践を行い、政策に関与し、世界中の人権とジェンダー平等のイニシアチブに貢献する能力を構築する機会を促進させてきました。現在は「国境なき学術団 (Academics Without Borders)」の一環として、パキスタンのソーシャルワーク博士課程の学生 65 名を対象とした質的研究コースの設計及び指導を主導しています。

「より公正で公平な世界の追究に向けた、世界各地での卓越したソーシャルワーク教育、研究、奨学金の実施」を促進、発展させるという IASSW のビジョンは、私の使命と人生の目標とよく合致しています。

カナダでは、カルガリー大学の国際ソーシャルワーク大学院プログラムの再設計を主導しました。この新たなプログラムは、民族・地域固有の世界観、反・ポスト植民地主義、反人種差別、トランスナショナルフェミニズム、反抑圧理論及び実践、相互扶助を中心とした倫理的・理論的枠組みに根ざしています。このカナダで唯一無二のプログラムは、継続的なコラボレーション、コミュニティの参画、専門家による協議の結果に基づくものです。

IASSW は、ソーシャルワークの教育・実践の協同構築と脱植民地化において、持続可能なグローバル・アライアンスを発展させる重要な役割を果たしています。私は、理事会のメンバーとして、優れたソーシャルワーク教育・研究・実践の推進をめざす IASSW のビジョンと使命である「参画的コミュニティ」「相互交流」「グローバル・パートナーシップ」を強化するために、同僚と協力しあっていきたいと考えています。私は、国際的なソーシャルワーク・プログラムの開発、グローバルな能力の構築、幅広い調査研究とコミュニティへの関与に関する経験が、メンバー全体を代表する者として IASSW 理事会で効果的に職務を遂行することに役立つと信じています。